

## 産業建設委員会

**質** 就業資格取得支援事業補助金の補助対象となる資格は。

**答** 大型自動車・大型特殊免許、フォークリフト運転技能講習、電気工事士を初め、要綱に規定する国家資格や国家検定は166種ある。

**質** 仁耐水沢スギ植物群落保護林の遊歩道改良工事費の減額理由は。

**答** 今年度において測量設計業務委託と遊歩道改良工事を実施する予定であったが、工事の入札に対して応札がなく、入札中止となった。補助金の交付者である県より、工事の実施を来年度に変更するよう指導があり、今年度の工事分の事業費を精算するものである。

**質** 応札者がいなかった理由は。

**答** 同時期に他の公共事業も多く、人手不足となったことや、工期が短かったことなどが考えられる。来年度は工期を長く設定することとしており、応札があると思われる。

**質** 産地パワーアップ事業費補助金の概要は。

**答** 轟地区のネギの圃場において混入している石への対策として、石を砕く装置、トラクター等のリース導入に対し、国が50%補助するものである。

**質** 初めからネギ作付けの圃場として、栽培に支障ない深さまで石を除去する等の整備はできないのか。

**答** 基本的には水田としての整備で

あるため、表土の厚さに国の基準があり、深く掘った際に石が出てくることがある。

**質** 今回機械を導入するが、事業費の半分以上が農家の負担となるため、圃場整備の事業主体である県へ改善を要望できないか。

**答** 農家が安心して営農できるように畑作の表土の厚さを確保し完成検査時に石の混入がないことを確認する等、農家とよく話し合い、整備を進めるよう県へ要請していきたい。

**質** 大館能代空港利用促進助成金の利用状況は。

**答** 今年度、助成内容を拡充したこともあり、11月現在、5006名、1497万円の助成で、前年同期比で約1.2倍の伸びとなっている。

**質** 助成金の事業効果は。

**答** 搭乗率は伸びており、引き続き本事業で地元利用を促し、あわせて観光周遊ルート構築の検討等を行うことにより、現在要望している羽田便の増便や、休止路線の再開につなげていきたい。

(落合範良)



産業建設委員会の様子

## 議会基本条例策定 特別委員会

11月19日開催の委員会では、会派希望がこれまでの検討結果を踏まえ、改めて作成した基本条例の素案をたたき台とし、条文について検討を行った。

「議員の活動原則」について

**意見** 「一部団体及び地域の代表にとどまらず」ということが大切で、文言を追加すべき。

**意見** 「市長等と議会の関係」について 議会は執行権を持たず、市長等と対等な立場ではないため、「対等」の文言を削除すべき。

「議長及び副議長選出」について

**意見** 「それぞれの職を志願する者に対し所信を表明する機会を設け」の文言を削除すべき。

**意見** 削除せずそのまま残すべき。

**意見** 議員間の自由討議について 委員会以外の場でも可能性があることから「委員会において」の文言を削除すべき。

「報告会および広報の充実」について

**意見** 現在の報告会は意見を交換する場ではなく聴く場であるため、文言を変更すべき。

**協議結果** 各意見を踏まえ、再度各会派で検討を行い、次回委員会において調整を行うこととした。

12月定例会では引き続き条文について事前に事務局から提出された意見も参考に、1条ずつ検討を行った。

「議会の運営原則」について

**意見** 「情報公開を拡充し」の文言を「議会が有する情報の積極的な提供に努め」に変更すべき。

「議員の活動原則」について

**意見** 議会活動及び議会活動に資する行事等への参加は、議員に課せられた義務であり、公人としての立場を選んだ以上、これら活動を優先する旨の一文を追加すべき。

**意見** 議会活動に資する行事等に該当するかどうかの線引きは非常に難しいため、条例に位置づけるのは困難ではないか。

「議員間の自由討議」について

**意見** 詳細については今後別の協議の場で検討すべき。

「会議等の公開」について

**意見** 「本会議及び委員会を原則公開する」の文言を、全ての会議を公開する旨に変更すべき。

「議会費の要望」について

**意見** 「必要な予算の確保に努めなければならない」の文言のうち「確保」を「要望」に、「努めなければならない」を「努める」に変更すべき。

**協議結果** 「議会費の要望」について、意見のとり変更すること、「目的」について、理解しやすい表現となるよう文章の一部を整理すること、本条例に「章」を設けること、条の見出しの一部を変更することを決定し、このほかの条文についても、引き続き検討を要することを決定した。

(佐藤智一)